

## 【活用にあたって】

中日新聞名古屋本社の道路をはさんだ西に愛知県図書館があります。その入口で「横井也有出生地」という案内板を見つけました。横井也有は江戸時代の俳人です。名前だけは知っていたのですが、ここで生まれたのかということで、なぜか身近に感じられました。

今回の記事は「奥の細道」に関するものです。江戸時代に書かれた作品ですが、芭蕉の出生地が三重県伊賀市、奥の細道むすびの地が岐阜県大垣市ということで、東海北陸に関わる人は親近感を覚えるのではないのでしょうか。

新聞記事は、教室で学ぶ古典との距離感を縮めてくれます。古典は手の届かない、はるか遠くにはありません。私たちのすぐ近くにあり、いつも人に読まれることを待っています。その橋渡しをしてくれるのが新聞です。ちょっとした小さな記事が、広く深い古典の世界に手招きしています。

### 解答例

問 1 : 三重

問 2 : 文章の字句を何度も練り直すこと。

発展 : 月日は百代の過客にして行かふ (う)